

今後の予定、いい川・いい川づくりワークショップ全国大会等について説明が行われました。

■「釧路湿原自然再生パネル」・「釧路湿原自然再生ガイドブック」英語版を作成予定

■第11回いい川・いい川づくりワークショップ全国大会in北海道十勝(2018.12.1～12.2開催)

再生普及小委員会委員である標茶高等学校が、第11回いい川・いい川づくりワークショップ全国大会で最高賞にあたるグランプリに輝きました。

いい川・いい川づくりワークショップは、全国の川や水辺に関する取組みを紹介する全国大会で、これまで標茶高等学校が行ってきた環境保全への取組みや、その発表などが評価されたものです。

授業の一貫である研究学習の枠を超えて、放課後や休日にも活動してきたことが認められたものであり、今後もさらなる取組みが期待されます。



グランプリ獲得のようす



発表のようす

■河川整備計画の見直しについての情報提供

■第8回湿原学習学校支援ワーキンググループは1月15日に開催予定

第32回 再生普及小委員会 出席者名簿 (敬称略、五十音順)

個人 [6名]

- 神戸 忠勝
- 新庄 久志
[釧路国際ウェットランドセンター技術委員長(環境ファシリテーター)]
- 高嶋 八千代
- 高橋 忠一
- 照井 滋晴 [特定非営利活動法人環境把握ネットワーク-PEG代表]
- 蛭田 真一

団体 [9名]

- 釧路国際ウェットランドセンター [事務局長/菊地 義勝]
- 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会 [芳賀 孝朋]
- 公益財団法人北海道環境財団 [事務局次長/久保田 学]
- こどもエコクラブくしろ [近藤 一燈美]
- 特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 [渡會 敏明]
- 特定非営利活動法人 タチヤク保護研究グループ [井上 雅子]
- 特定非営利活動法人 くしろ・わっと [佐藤 陽介]

団体 (つづき)

- 特定非営利活動法人 鶴居タンチョウ元亀村
[事務局長・理事/佐藤 吉人]
- 北海道標茶高等学校 [教諭/河端 将史]

オブザーバー [1機関]

- 釧路商工会議所 [振興課長/斎藤 大]

関係行政機関 [5機関]

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部
[上席治水専門官/小澤 徹]
- 環境省 釧路自然環境事務所 [次長/徳田 裕之]
- 林野庁 北海道森林管理局
[釧路湿原森林ふれあい推進センター所長/川淵 義昭]
- 北海道 釧路総合振興局
[保健環境部環境生活課 自然環境係長/高橋 克巳]
- 釧路市 [環境保全課 課長補佐/元岡 直子]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページで公開しています。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend000003ppq.html>

釧路湿原自然再生協議会運営事務局

[TEL] 0154-23-1353 [FAX] 0154-24-6839

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。

電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原 自然再生 協議会

再生普及小委員会 ニュースレター

REGENERATION
SPREAD
SUB COMMITTEE
NEWS LETTER

Vol. 32

発行日:平成31年1月31日

編集・発行:釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

平成30年12月14日(金)「第32回 再生普及小委員会」が釧路地方合同庁舎5階 第1会議室で開催されました。

開催概要

会議には、小委員会には個人6名、団体9団体、オブザーバー1機関、関係行政機関5機関が出席しました。今回は、再生普及小委員会の活動報告及びウェブサイト等による情報発信についての意見交換が行われました。

「～体感!キラコタン岬～」
(第21回フィールドワークショップ)平成30年8月23日



Discussion about
Regeneration of Kushiro Marsh



このようなことが話し合われました。

再生普及小委員会の活動報告

事務局より再生普及小委員会の活動について報告が行われました。

1 再生普及行動計画オフィス取組みについて

① ワーキンググループ等の開催

- 第7回 湿原学習のための学校支援ワーキンググループ
開催日:平成30年8月1日(水) 参加者13名
議 題: 1. 第6回ワーキンググループ以降の取組み報告
2. ウェブサイトによる情報発信について
3. これからの取組予定
- 第8回 再生普及推進のための連携チーム会合
開催日:平成30年11月22日(木) 参加者15名
議 題: 1. 環境教育の取組み及び自然再生への参加機会の実施状況について
2. ウェブサイト等による情報発信について
3. 「釧路湿原自然再生パネル」の作成について
4. 「釧路湿原自然再生ガイドブック」の英語版作成について

② ワンダグリンド・プロジェクトの推進

- ワンダグリンド・プロジェクト2017活動報告書の作成・配布
- ワンダグリンド・プロジェクト2018の活動支援
・イベント、パネル展での活動紹介
・メールニュースでの活動情報発信
・活動の場の提供、イベント等での支援
- ワンダグリンド・プロジェクト2018応募状況
・応募総数:60団体(個人)80取組

(1) しる!



(2) とる!



(3) しらべる!



(4) たべる!



ワンダグリンド・プロジェクト
～親子で参加!ウチダザリガニ捕獲&試食体験
平成30年7月29日

REGENERATION SPREAD
SUB COMMITTEE
NEWS LETTER



- フィールドワークショップの実施
第21回フィールドワークショップ～体感!キラコタン岬～
開催日:平成30年8月23日(木)
参加者:22名 案内人:新庄久志氏

参加者の感想

- ・湿地の感触や川のぬかるみなどを実際に歩いて体験できたことが非常に良かった。
- ・今日体験したことをみんなに話して釧路湿原を好きになってもらいたい。



「～体感!キラコタン岬～」
(第21回フィールドワークショップ)平成30年8月23日

3 情報発信・普及活動の拡充

- イベントへの出展、パネル展の開催
 - くしろエコ・フェア2018
日 時:平成30年6月30日(土)9:00～18:00
会 場:イオンモール釧路昭和1階専門店街サンコート広場
内 容:釧路湿原自然再生事業紹介パネル、航空写真の展示、湿原クラフト体験教室、ジオラマ展示、羽ばたく折り鶴教室の実施
 - 釧路湿原自然再生パネル展「知ろう!学ぼう釧路湿原再生事業」
期 間:平成30年7月17日(火)～7月26日(木)
会 場:釧路市中央図書館7階 展示ホール
内 容:釧路湿原自然再生事業パネル、湿原の生き物パネル、湿原流域地図、湿原クラフトの展示
 - ミニ企画展「アイヌ民族と植物」
期 間:平成30年9月9日(日)～10月8日(月・祝)
会 場:温根内ビジターセンター
内 容:松浦武四郎のフィールドノート「久摺日誌」に記されたアイヌ民族が利用していた植物を中心に植物標本等を紹介
協 力:奥田幸子氏
 - 釧路市生涯学習フェスティバルまなトピア2018
期 間:平成30年11月10日(土)～11月11日(日)10:00～16:00
会 場:釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞
内 容:釧路湿原流域航空写真、自然再生事業紹介パネルの展示、ペーパークラフト体験教室、ジオラマ展示、釧路湿原国立公園お話し会の実施
- メールニュースの配信、施設等での掲示
- 市町村広報誌、新聞等メディアへの情報提供、記事掲載



くしろエコ・フェア2018 平成30年6月30日



釧路市生涯学習フェスティバルまなトピア2018
平成30年11月10日～11月11日

4 自然再生事業の現地見学会及び自然再生活動への参加機会づくり

- 現地見学会など市民参加イベントの実施及び実施風景の情報発信
 - 市民参加の取り組み紹介写真展
期 間:平成30年7月19日(木)～12月9日(日)
会 場:温根内ビジターセンター、塘路湖エコミュージアムセンター
内 容:環境教育、市民参加機会の実施状況写真の掲示、チラシ、リーフレット等による情報発信

5 学校支援ワーキンググループの取り組み課題の実践

- 取り組み課題1「湿原を題材とした学習素材の収集、活用の促進」
対応 学校教員との意見交換を経て、「フィールド情報マップ」および「湿原学習の支援事例」へのとりまとめを行う。
- 取り組み課題2「自然再生の学校教育への活用促進」
対応 次年度における教育委員会等と連携した研修講座の実施、新たな実践づくりに向けて、関係者との意見交換、調整を行う。
- 取り組み課題3「学校教員の関心喚起、湿原の教育的な価値の普及」
対応 次年度における教育委員会等と連携した研修講座の企画、学校における実践の促進に向けて、取り組みの広報、関係者との意見交換、調整を行う。



達古武地区自然再生事業地を活用した
教員研修講座の企画 平成30年9月11日

ウェブサイト等による情報発信について

事務局よりウェブサイト等による情報発信についての説明が行われました。

1 WEBサイトによる協議会からの情報発信について

■ 検討の目的

「湿原データセンター」の情報更新にあたり、協議会の他のウェブサイトとの役割分担等を整理し、協議会からの情報発信の改善について検討する。(ウェブサイト全体の見直しをするものではない。)

■ 課題と対応案

課 題	対 応 案
① 情報発信が一元的でなく、情報が重複・分散している	○ 各サイトの基本的役割を整理 ○ WEBサイト間の機能分担を整理
② 会議資料以外はデータの更新が行われにくい	○ 各サイトの更新体制を整理
③ 自然再生の現状等を市民目線でわかりやすく伝えるべき	○ 各小委員会ごとに毎年度の進捗状況をPDFで作成し、協議会サイトで公開
④ データセンターのユーザーが不明確	○ 今後のデータセンターの更新作業に反映
⑤ データセンターと他の情報源との機能分担	
⑥ データへのアクセス	

■ 今後の取り組み内容案

- 各小委員会サイトの構成の統一
 - ・各サイトの構成が異なるため統一は困難 ⇒ 見出しタイトル、掲載順等を統一
- 自然再生事業の進捗状況報告(一般向け)記載事項(案)
 - ・「釧路湿原自然再生ガイドブック」の各実施計画毎の記載ベースとする。
 - ・地図、写真、図表等を用いてわかりやすく記述する。
 - ・「どこで」、「何のために」、「何を」やっていて、「どこまでできているのか」、「何がわかったのか」
 - ・小中学校の教員が理解できるレベルの用語を使用した記述を意識する。

ウェブサイトの更新に関してこのような議論が行われました。(詳しくはホームページをご覧ください)

- 各小委員会の専門家に呼びかけてホームページをチェックしてもらってはどうか。
- 「構造がわかるナビゲーション」を各サイトに貼り、少しずつ修正していきたい。
- 研究結果に関する指摘をいただくことは無理なくできる。連絡の受け場所をどこか用意しておけば良い。
- データの著作権について、世界的基準であるクリエイティブコモンズを明記するべき。
- 詳細情報まで検索できることが今後の検討課題である。
- 十分に注意を払って対応する。

委員長 委員 事務局